

# 簡単原寸印刷

Ver 1.1

インストール手順書

## 目次

1. はじめに .....	3
2. .NET Framework 3.5 の有効化の確認.....	3
3. セキュリティソフトに対して本ソフトのプログラムの許可設定を行う .....	7
3-1. セキュリティソフトが <b>Norton</b> の場合 .....	8
セットアップ用のプログラムに対する実行許可の設定を行う .....	8
インストール先フォルダのセキュリティチェックの除外設定を行う .....	13
3-2. セキュリティソフトが <b>ウィルスバスター</b> の場合 .....	18
4. 「簡単原寸印刷」のインストール手順について.....	23
5. インストール先のプログラムやフォルダのセキュリティチェックの除外設定を行う .....	29
5-1. セキュリティソフトが <b>Norton</b> の場合 .....	29
5-2. セキュリティソフトが <b>ウィルスバスター</b> の場合 .....	31
6. 本ソフトのインストール確認を行う .....	33
7. トラブルシューティング.....	34
7-1. setup.exe を実行した時に Norton のエラーが表示される .....	34

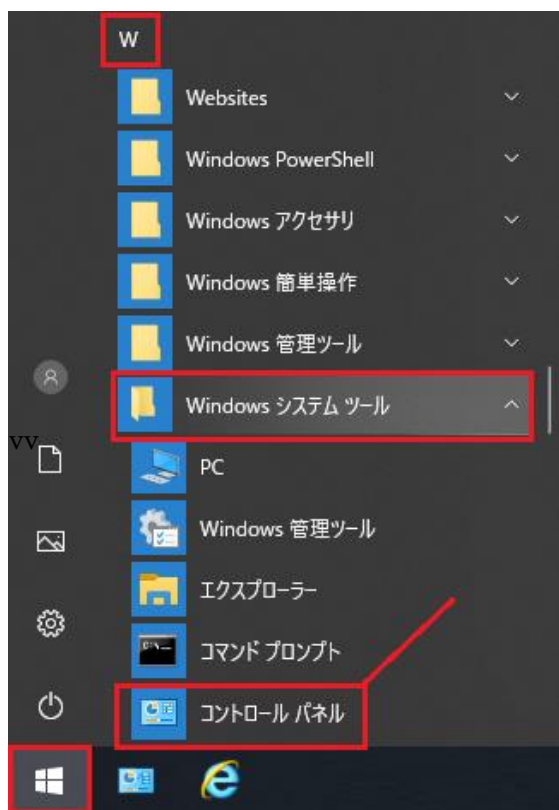
## 1. はじめに

本資料では、「簡単原寸印刷」の実行に必要な環境の確認とソフトのインストール方法についてご説明しています。本ソフトについて企業内等でご利用の場合は、下記以降の操作について、事前にシステム管理者の方にご相談頂いた上で実施をお願い致します。また、補足となりますが、本資料に記載されている会社名、製品名、サービス名等は、各社の商標または登録商標です。

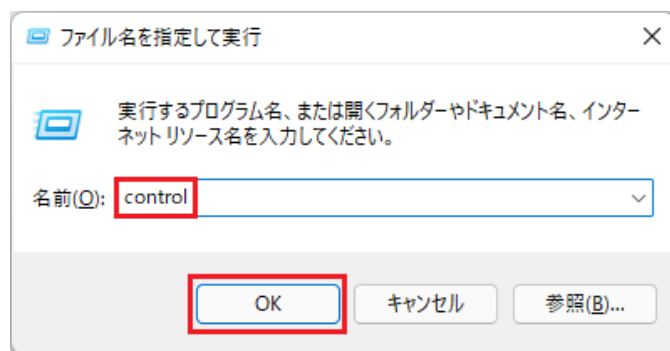
## 2. .NET Framework 3.5 の有効化の確認

本ソフトは、実行するための条件として「**.NET Framework 3.5**」が有効になっている必要がありますので、まず初めに、この確認方法からご説明します。補足となりますが、本資料で利用している画像及び手順は Windows 10 (64bit)の物になりますが(一部 Windows 11 の場合の補足があります)、Windows 11 や Windows 8 , Windows 7 でも考え方は同じとなります。

- 2-1. まず、「**Windows のスタートボタン**」をクリックして頂き、キーワード「**W**」の項目の中にある「**Windows システム ツール**」を開き、さらに「**コントロールパネル**」をクリックします。



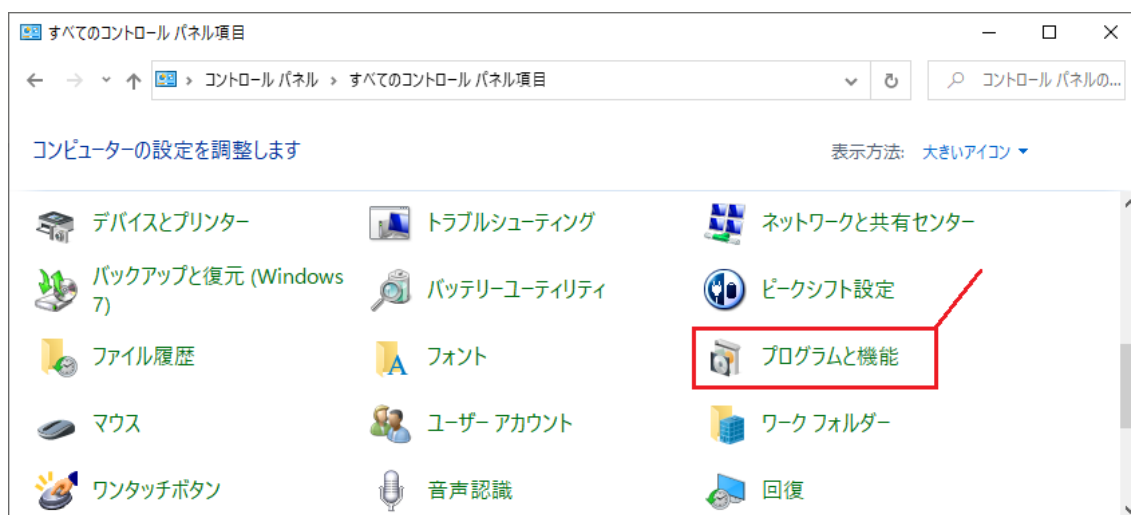
※もしくは、各 Windows で共通の操作となりますが、Windows キーを押しながら「R」キーを押すと、下図のように「ファイル名を指定して実行」というウィンドウが表示されますので名前の部分に「control」と入力して「OK」ボタンをクリックします。



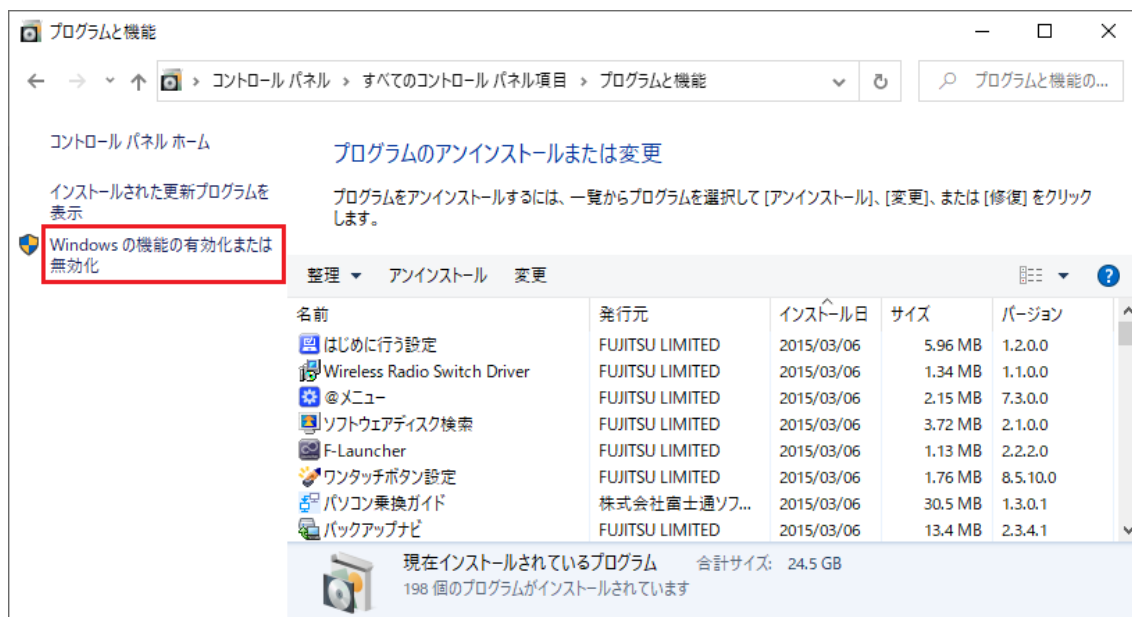
2-2. すると「コントロールパネル」が開きますので、画面右側の表示方法の部分をクリックして頂き、メニューから「**大きいアイコン(L)**」をクリックします。



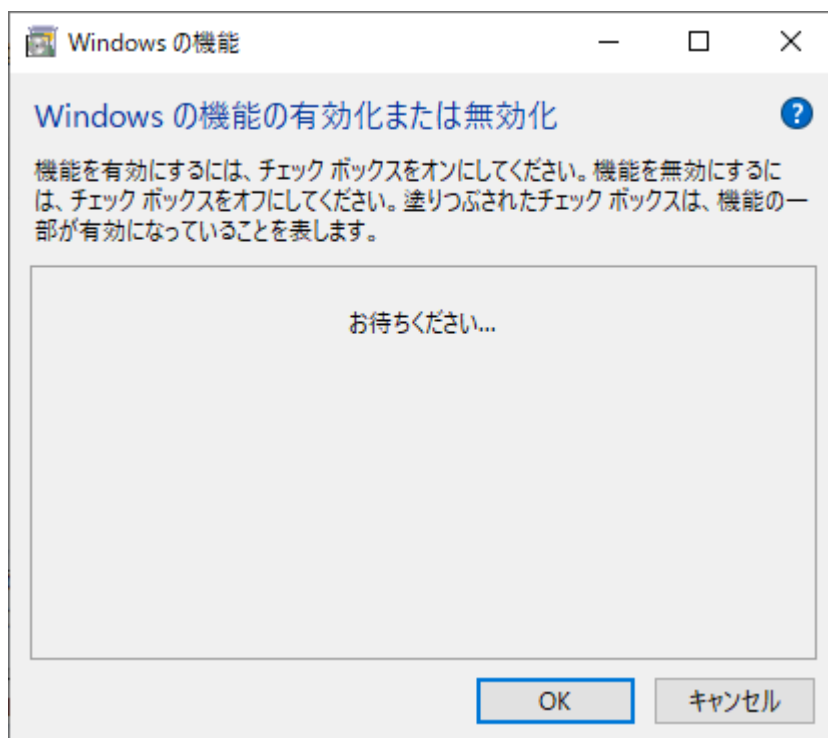
2-3. すると、下図のようにコントロールパネルが「**大きいアイコン**」で表示されますので、この中にある「**プログラムと機能**」という部分をクリックします。



2-4. すると、下図のように「**プログラムと機能**」という画面が開きますので、画面左側の「**Windows の機能の有効化または無効化**」という部分をクリックします。



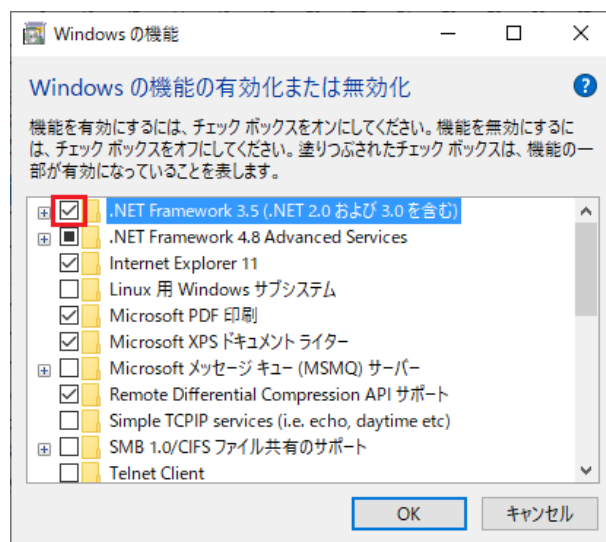
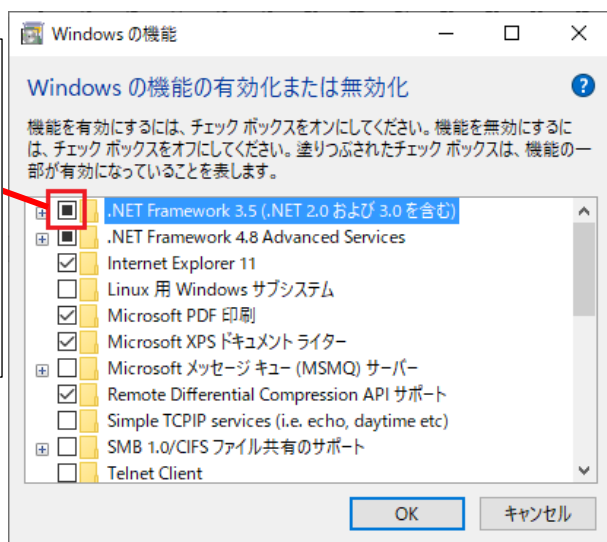
2-5. すると、下図のように「**Windows の機能**」という画面が表示され、画面上に「おまちください...」と表示されますので、内容が表示されるまで少しお待ちください。



2-6. 手順 2-5.の画面で少しお待ち頂くと、下図のように内容が表示されます。ここで画面内に「**.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)**」と書かれた部分について、下図の【その 1】の図のように、**先頭の部分が黒色の塗りつぶしの四角形の状態**、もしくは【その 2】の図のように、**先頭の部分にチェックが入った状態**であれば、本ソフトを実行できる環境が整っていますので、下図の画面は「キャンセル」ボタンで閉じてください。

【その 1】先頭が黒色の四角形の状態

【その 2】先頭にチェックが入った状態



※もしくは、Windows 11 をご利用の場合で先頭が「一」記号の状態

ちなみに、先頭が黒色の四角形（又は「一」）の場合とチェックマークの場合の違いですが、黒色の四角形（又は「一」）の場合は、「.NET Framework 3.5」の一部の機能が有効になっているという意味ですが、本ソフトはいずれかの状態であれば実行可能です。

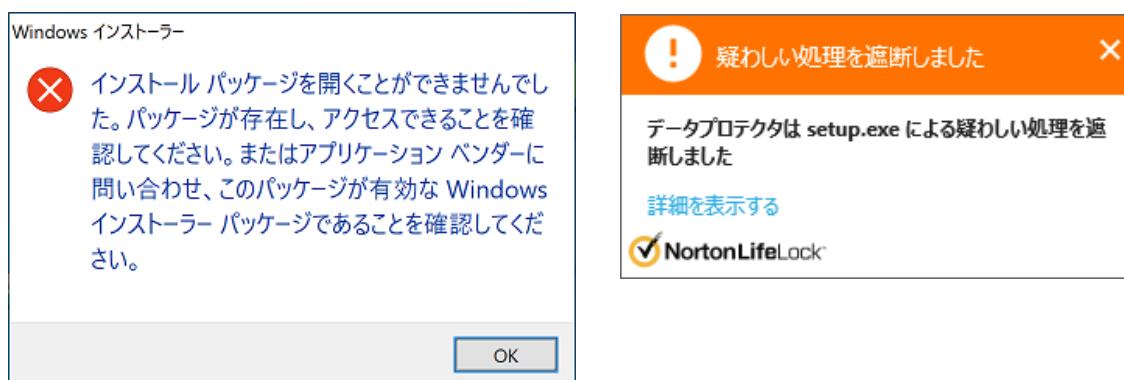
### 【注意点】

もし、上図の【その 1】または【その 2】の状態ではなく、「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」と書かれた部分の先頭が空白のチェックボックスの状態の場合は、このチェックボックスをクリックして「.NET Framework 3.5」を有効にする必要があります。この有効化の操作を行った場合、ファイルのダウンロードやインストールに若干時間がかかる可能性もありますので、ご留意の上、実施してください。また、免責事項となりますが「.NET Framework 3.5」の有効化、そして、それに伴うインストール操作の部分については、本ソフトのサポート外となりますので、ご利用者様の責任の元で行ってください。

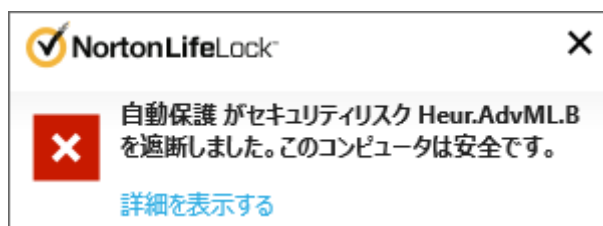
ここまで「.NET Framework 3.5」が有効化されているかどうかの確認方法についてご説明しました。本ソフトは「.NET Framework 3.5」の有効化が必要となりますので、上図の有効化が確認できましたら、次の手順 3 へお進みください。

### 3. セキュリティソフトに対して本ソフトのプログラムの許可設定を行う

一般的に、Windows の PC にはセキュリティソフトがインストールされていることがほとんどですが、セキュリティソフトによっては、本ソフトのインストール時や本ソフトの起動時、または、利用時に不正なプログラムと誤認識され、正常な動作が出来ないことがあります。例えば、インストールプログラムを起動すると下図のようなエラーが発生して先に進めないことがあります。



また、本ソフトの起動時に下図のようなエラーが表示され、本ソフトの実行プログラムが削除されてしまうこともあります。



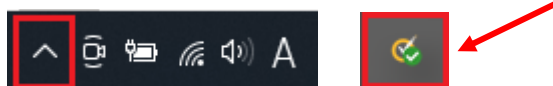
このような事を防ぐため、事前にセキュリティソフトに対して本ソフトのセットアップ用プログラムに対する実行を許可したり、インストール先フォルダに対するセキュリティチェックを対象外にしておきます。本資料では、代表的な Symantec 社の Norton 及びトレンドマイクロ社のウィルスバスターのケースでご説明しています。バージョン等により画面が異なる場合がございますが、他のセキュリティソフトも含め、本資料と同様の考え方で設定をお願い致します。

※Norton の場合ですが、本ソフトをインストールする前に、セットアップ用のプログラムに実行の許可設定を行い、合わせて、インストール先となるフォルダパスをセキュリティチェックから除外する必要があります(手順 3-1.)。ウィルスバスターの場合は、インストール先のフォルダパスのセキュリティチェックの除外設定は、本ソフトのインストール後に行います。ウィルスバスターをご利用の場合は手順 3-2.へお進みください。

### 3-1. セキュリティソフトが **Norton** の場合

セットアップ用のプログラムに対する実行許可の設定を行う

3-1-1. まず初めに、Windows のデスクトップの画面右下(タスクバー)にある「▲」マーク  
(隠れているインジケータを表示する)をクリックして頂き、Norton のアイコン  
が表示されたら、この**アイコンを右クリック**します。



3-1-2. すると、下図のようなメニューが開きますので「**ノートン セキュリティを開く**」と  
いう部分をクリックします。



3-1-3. 続いて、下図のように「**Norton のメインウィンドウ**」が開きますので、画面右上の  
「**設定**」をクリックします。





3-1-4. すると、下図のように「設定」画面が開きますので「ウイルス対策」という部分をクリックします。



3-1-5. すると、下図のように画面が変わりますので画面上部の「データプロテクタ」という部分をクリックして頂き、さらに、画面下部の「プロセス除外」の右側にある「設定する[+]」という部分をクリックします。



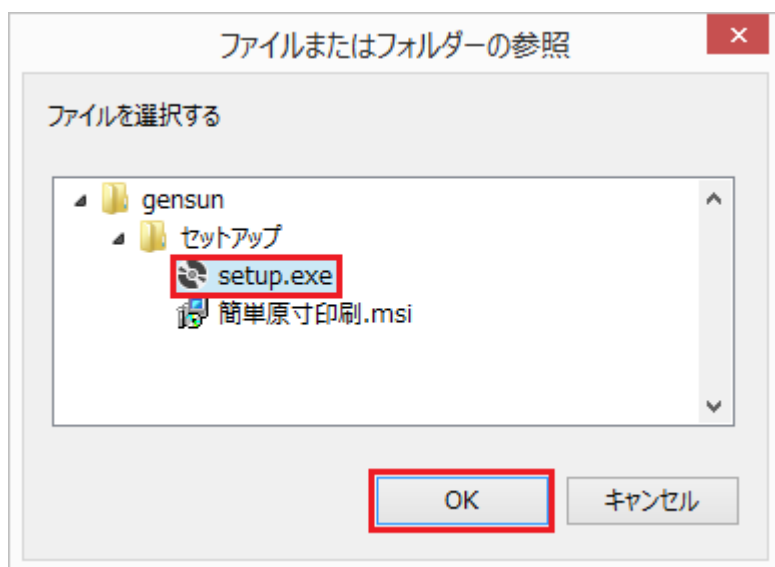
3-1-6. すると、下図のように「プロセスの除外」という画面が表示されますので「追加する」というボタンをクリックします。



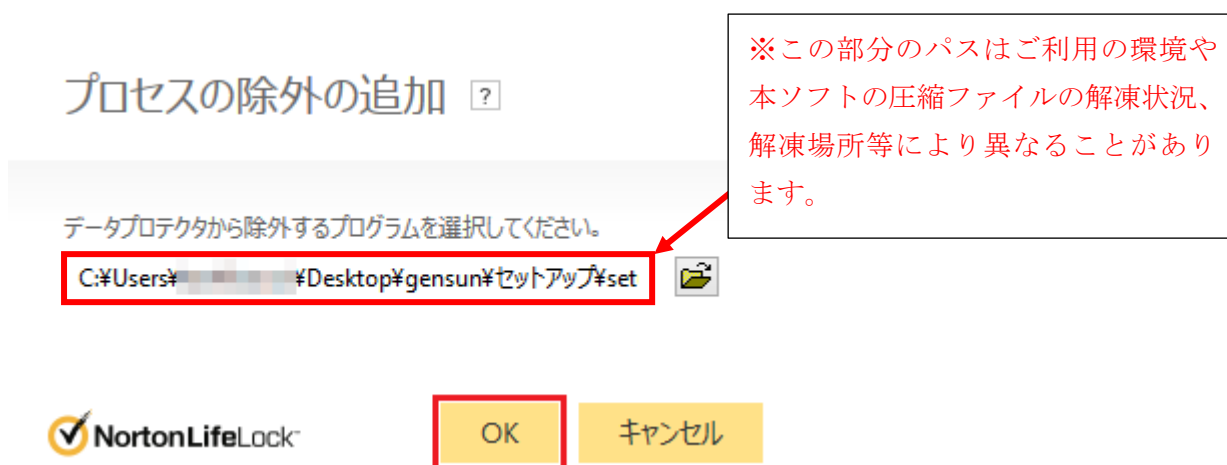
3-1-7. すると、下図のように「プロセスの除外の追加」という画面が表示されますので、画面右側の「フォルダマーク」のアイコンをクリックします。



- 3-1-8. 続いて、下図のように「**ファイルまたはフォルダーの参照**」という画面が表示されますので、本資料が格納されている「**gensun**」という名前のフォルダが存在する場所までフォルダを開いて頂き、その中の「**セットアップ**」フォルダ内にある「**setup**」または「**setup.exe**」と表記されたファイルをクリックして選択し「**OK**」ボタンをクリックします。



- 3-1-9. すると、下図のように「**プロセスの除外の追加**」の画面に戻りますので「**OK**」ボタンをクリックします。



3-1-10. 続いて、下図のように「プロセスの除外」の画面に戻りますので、画面上の「プロセス」の部分に先ほど選択した「setup.exe」のプログラムのパスが設定されていることを確認して「OK」ボタンをクリックします。



3-1-11. すると、下図のように「ウイルス対策」の画面に戻ります。ここまでの操作で、本ソフトのセットアップ用のプログラム「setup.exe」がセキュリティソフトによってブロックされることがなくなります。



## インストール先フォルダのセキュリティチェックの除外設定を行う

- 3-1-12. ここからは、インストール先フォルダのセキュリティチェックの除外設定を行います。画面上部の「スキャンとリスク」という部分をクリックすると、下図のような画面になりますので、「スキャンから除外する項目」の右側にある「設定する[+]」という部分をクリックします。



- 3-1-13. すると、下図のように「スキャンの除外」という画面になりますので、画面下部の「フォルダを追加する」というボタンをクリックします。



3-1-14. すると、本ページ下方の図のように「項目を追加する」という画面になりますので、赤枠部の入力ボックスに本ソフトのインストール先となるフォルダパスを設定します。

本ソフトの標準インストール先のフォルダパスは、下記となります。

【Windows 11 / 10 / 8 / 7 で 64bit の場合】

C:¥Program Files (x86)¥Hide¥簡単原寸印刷

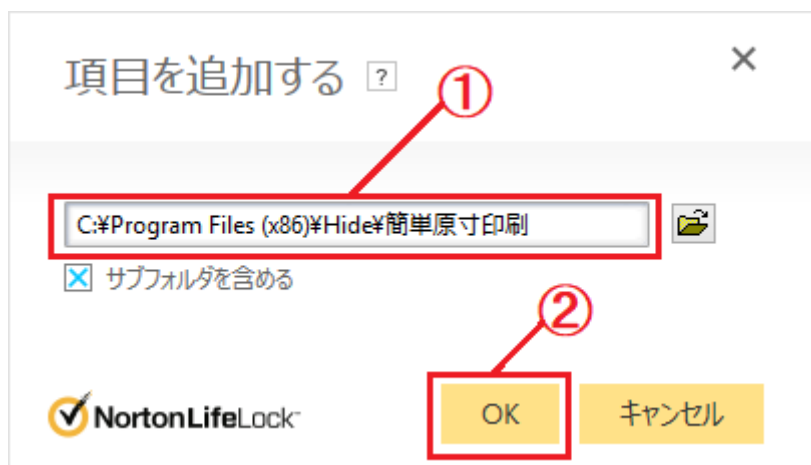
【Windows 10 / 8 / 7 で 32bit の場合】

C:¥Program Files¥Hide¥簡単原寸印刷

インストール先を変更しない場合は、上記のパスを下図のように設定して「OK」ボタンをクリックします。ちなみに、こちらのパスの情報ですが、本資料と同じフォルダにある【セキュリティソフト設定用】標準インストール先フォルダパス.txt というファイルに記載しておりますので、このファイルからテキストをコピーして貼り付けて頂くと便利かと思います。

もしインストール先を上記以外のフォルダにする場合は、そのフォルダパスを設定してください。

※下図は Windows が 64bit の場合の設定となります。以後、本資料で設定しているパスは Windows が 64bit の物になりますので 32bit の場合は、上記でご説明したパスに読み替えてください。



3-1-15. すると、下図のように「**スキヤンの除外**」の画面に戻りますので、本ソフトのインストール先が正しく設定されたことを確認して「**OK**」ボタンをクリックします。



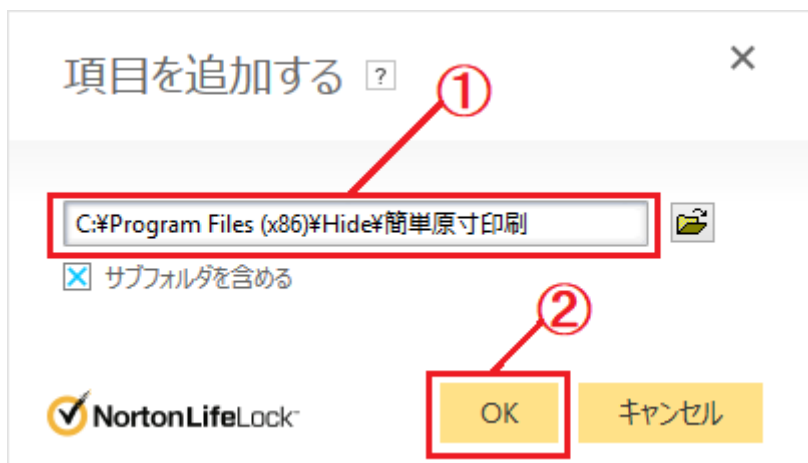
3-1-16. すると、下図のように「**ウィルス対策**」の画面に戻りますので、先ほどと同様に「**スキャンとリスク**」という部分をクリックして頂き、その中の「**自動保護、スクリプト制御、SONAR～**」という部分の右側の「**設定する[+]**」という部分をクリックします。



3-1-17. すると、下図のように「リアルタイム除外」という画面が表示されますので、画面下部の「フォルダを追加する」というボタンをクリックします。



3-1-18. すると、下図のように「項目を追加する」という画面になりますので、赤枠部の入力ボックスに本ソフトのインストール先となるフォルダパスを設定します。  
※設定方法については前述の手順 3-1-14.をご参考にしてください。  
パスの設定が終わりましたら「OK」ボタンをクリックします。



※上図で設定しているパスは、本ソフトの標準インストール先のパス(Windows 64bit の場合)となりますので、もしインストール先を変更される場合は、そのパスを設定して「OK」ボタンをクリックしてください。



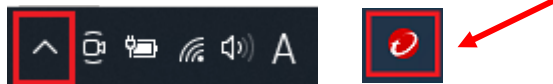
3-1-19. すると、下図のように「リアルタイム除外」の画面に戻りますので、本ソフトのインストール先となるフォルダが正しく設定されたことを確認して「OK」ボタンをクリックします。



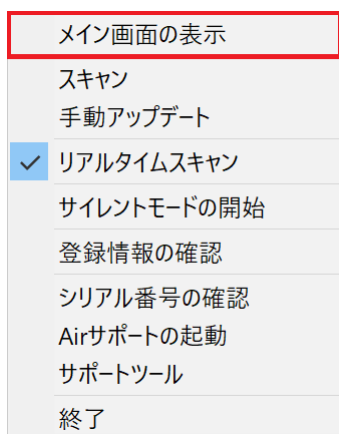
ここで一旦、Norton のメインウィンドウは閉じて頂き、引き続き、手順 4 の本ソフトのインストール手順にお進みください。

### 3-2. セキュリティソフトが**ウィルスバスター**の場合

3-2-1. まず初めに、Windows のデスクトップの画面右下(タスクバー)にある「▲」マーク(隠れているインジケータを表示する)をクリックして頂き、ウィルスバスターのアイコンが表示されたら、この**アイコンを右クリック**します。



3-2-2. すると、下図のようなメニューが開きますので「**メイン画面の表示**」という部分をクリックします。

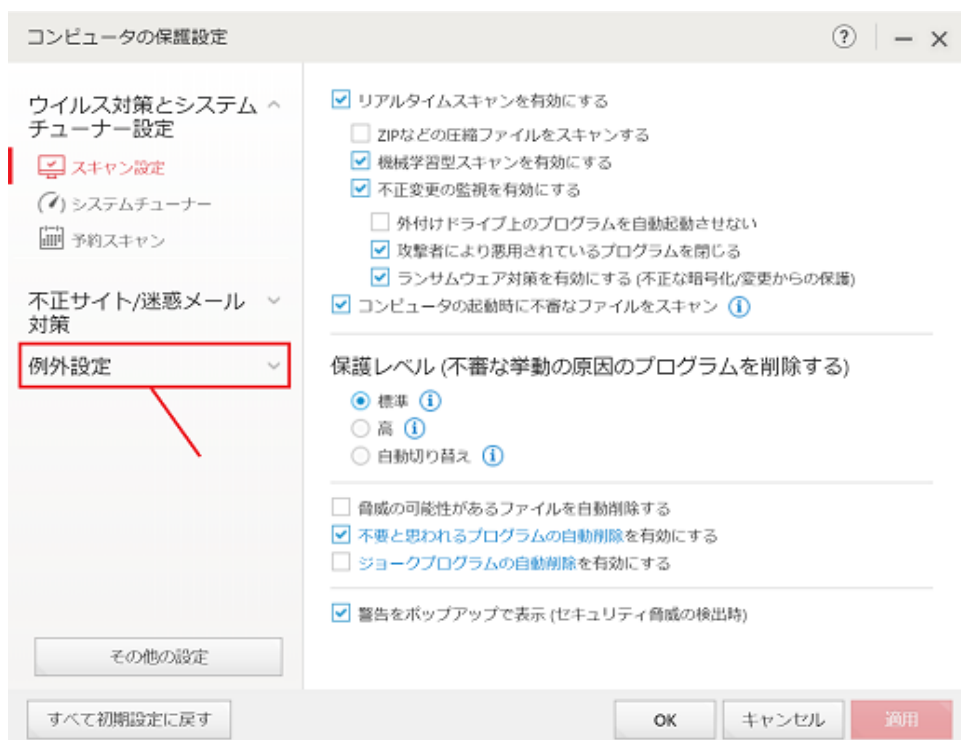


次のページへ続きます...

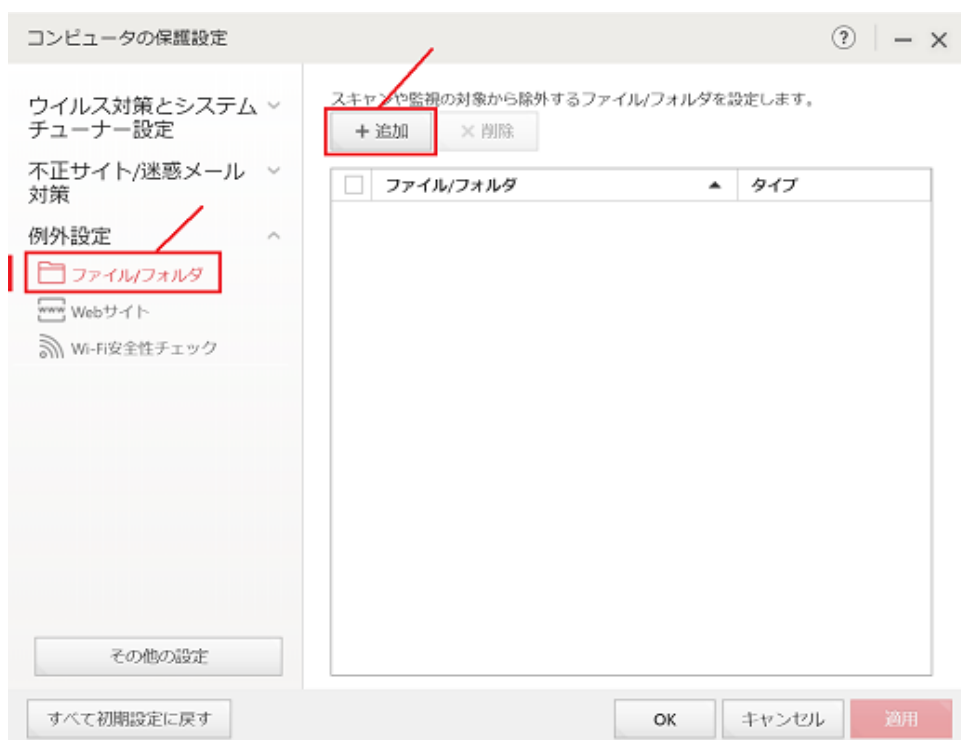
3-2-3. 続いて、下図のように「ウイルスバスターのメインウィンドウ」が開きますので、画面中央の「歯車マーク」をクリックします。



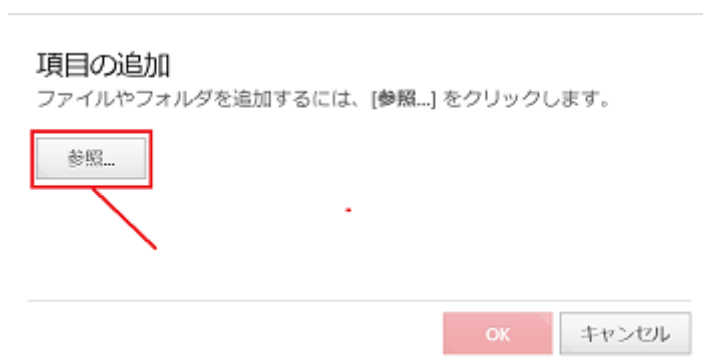
3-2-4. すると、下図のように「コンピューターの保護設定」という画面が表示されますので画面左下の「例外設定」をクリックします。



3-2-5. すると、下図のような画面に変わりますので、画面の左側で「**ファイル/フォルダ**」という部分をクリックして頂き、さらに画面右側の「**+追加**」ボタンをクリックします。



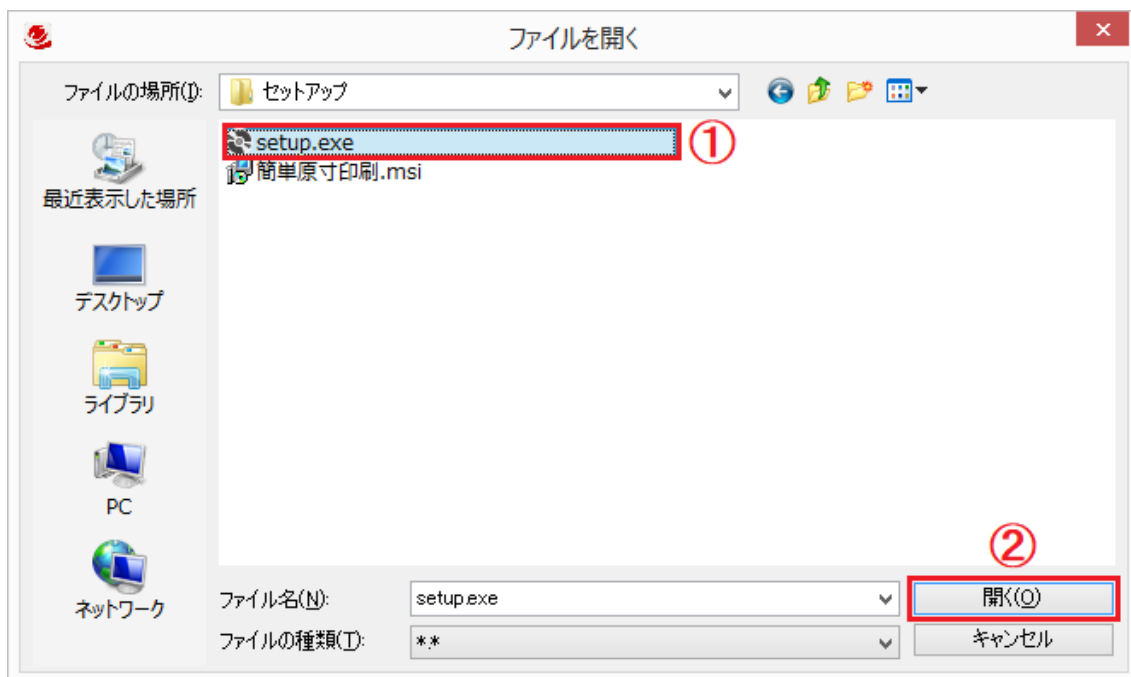
3-2-6. 続いて、下図のように「**項目の追加**」という画面が表示されますので「**参照**」ボタンをクリックします。



3-2-7. すると、下図のように「**ファイルを開く**」という画面が表示されますので、本資料が格納されている「**gensun**」という名前のフォルダが存在する場所までフォルダを開いて頂き、その中の「**セットアップ**」というフォルダをダブルクリックします。



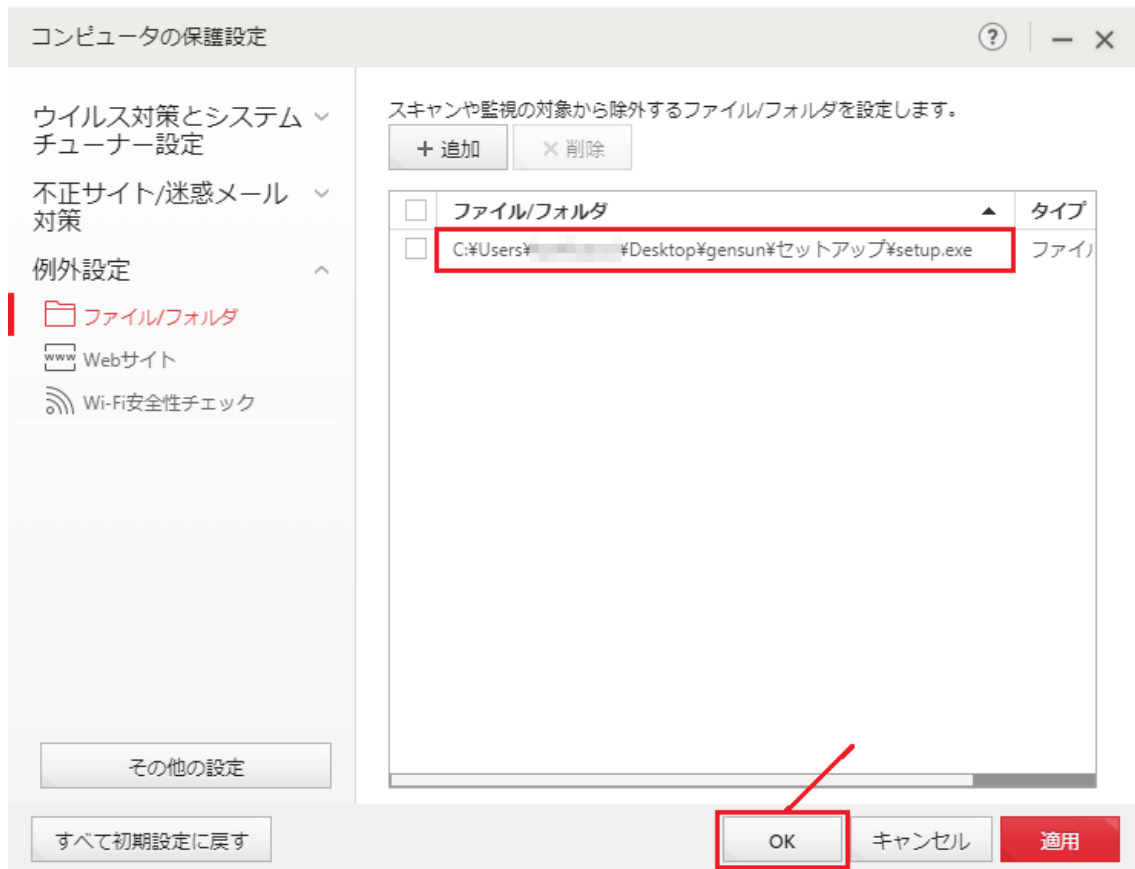
3-2-8. すると、下図のような画面になりますので「**setup**」または「**setup.exe**」と書かれたアイコンをクリックして選択して頂き、画面右下の「**開く**」ボタンをクリックします。



3-2-9. すると、下図のように「**項目の追加**」の画面に戻りますので「**OK**」ボタンをクリックします。



3-2-10. 続いて、下図のように「**コンピューターの保護設定**」の画面に戻りますので、画面右側の「**ファイル/フォルダ**」の部分に先ほど選択した「**setup.exe**」のパスが設定されていることを確認して「**OK**」ボタンをクリックします。

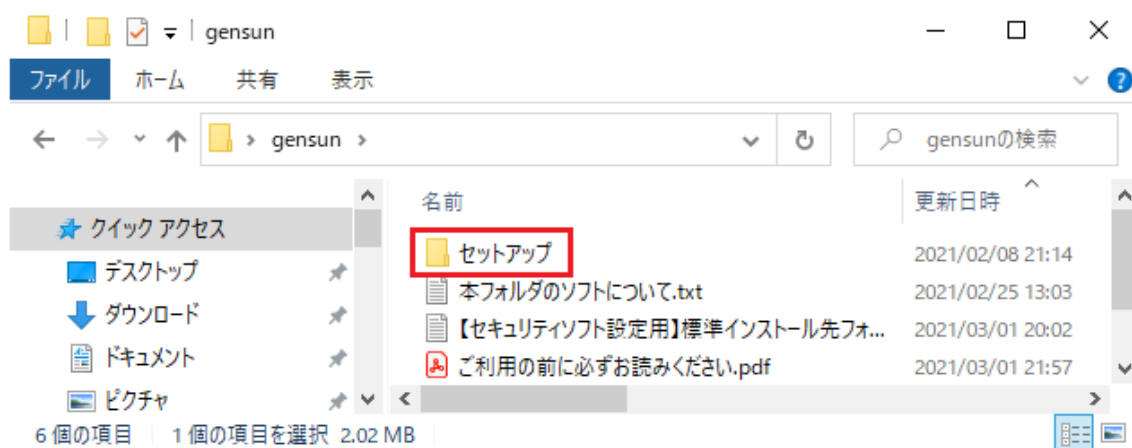


ここまでの操作で、本ソフトのインストールプログラムが格納されたフォルダがセキュリティソフトの対象外となります。ここで一旦、ウィルスバスターのメインウィンドウは閉じて頂き、引き続き、手順4の本ソフトのインストール手順にお進みください。

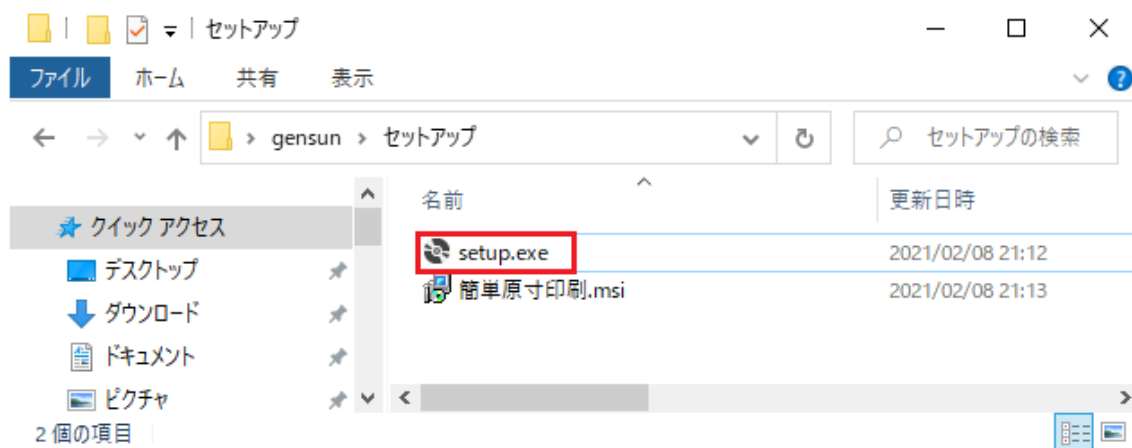
#### 4. 「簡単原寸印刷」のインストール手順について

ここからは、本ソフトを Windows PC にインストールする手順についてご説明します。

4-1. まず、本資料が格納されている「gensun」という名前のフォルダの中に、下図のように「セットアップ」というフォルダがありますので、こちらを開いて頂きます。



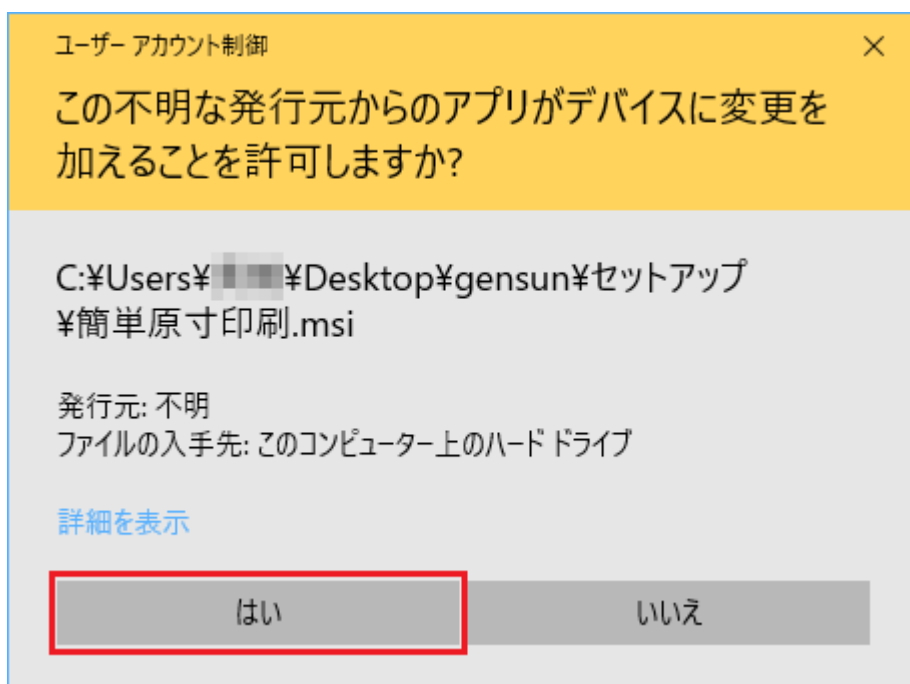
4-2. すると下図のように「setup.exe」と「簡単原寸印刷.msi」という 2 つのファイルが表示されますので、「setup.exe」の方をダブルクリックします。



4-3. すると、下図のような画面が表示されますので、そのままお待ちください。

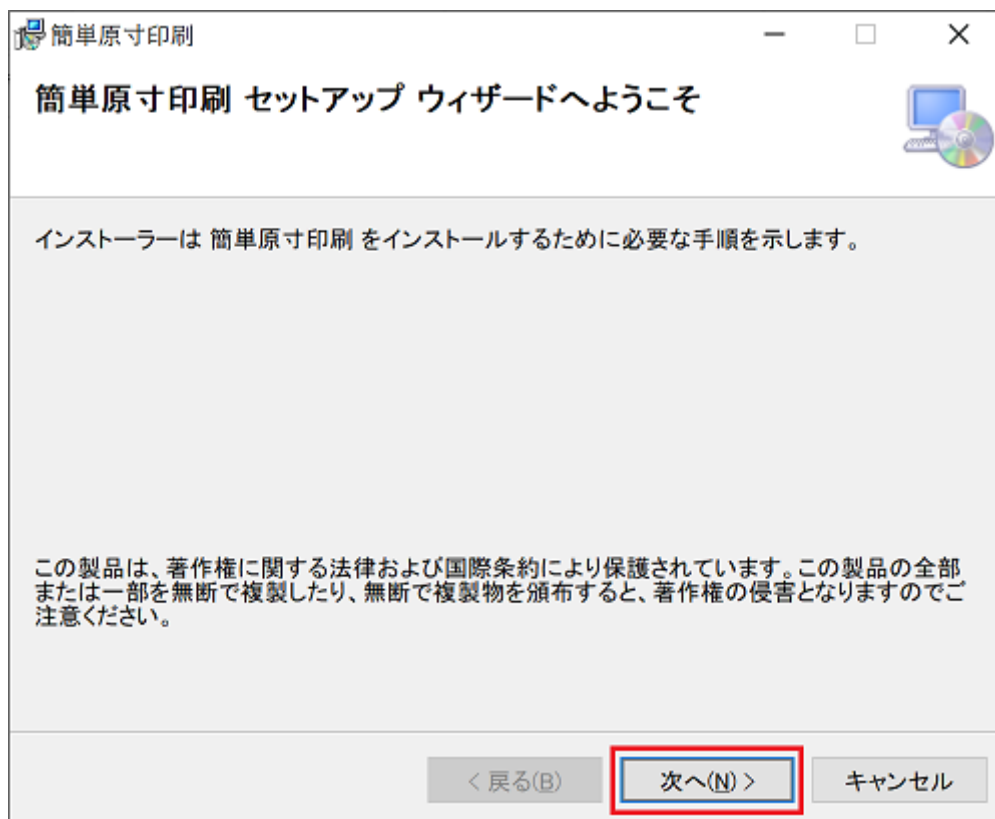


4-4. 次に、下図のように「ユーザーアカウント制御」という画面で「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。





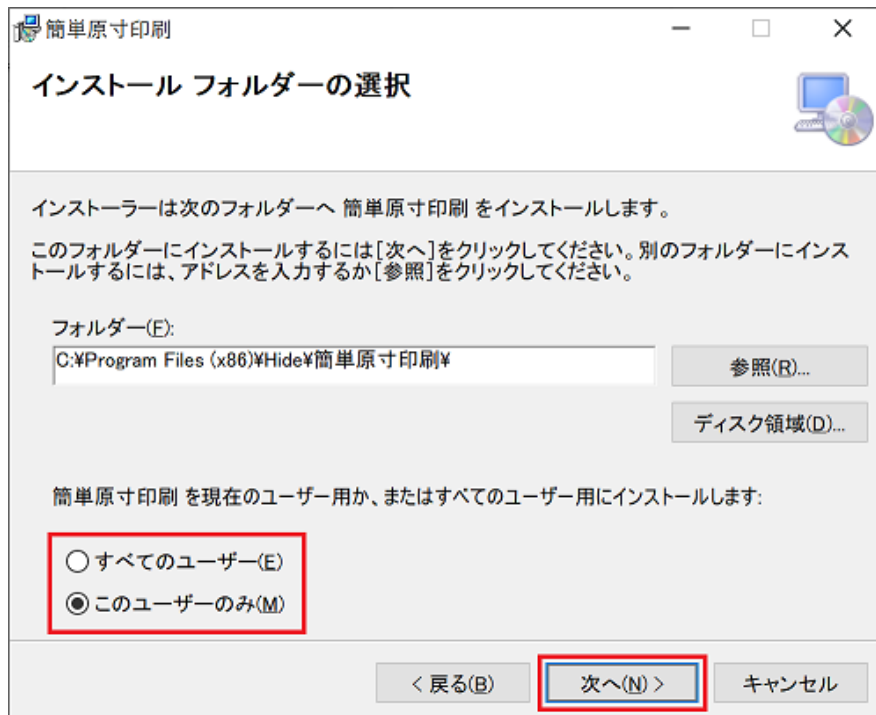
- 4-5. すると、下図のように「**簡単原寸印刷 セットアップウィザードへようこそ**」という画面が表示されますので、「**次へ**」をクリックします。



4-6. 次に、本ページ下方の図のように「インストール フォルダーの選択」という画面が表示されます。下記の補足をご確認頂き、必要に応じて設定を変更した上で「次へ」ボタンをクリックします。

【補足その 1】 下図のフォルダーの部分には、本ソフトの標準のインストール先(Windows 64bit の場合)が表示されています。もし変更されたい場合は、右側の「参照」ボタンをクリックして、ご利用の PC の内蔵ハードディスクの任意のフォルダーを選択してください。

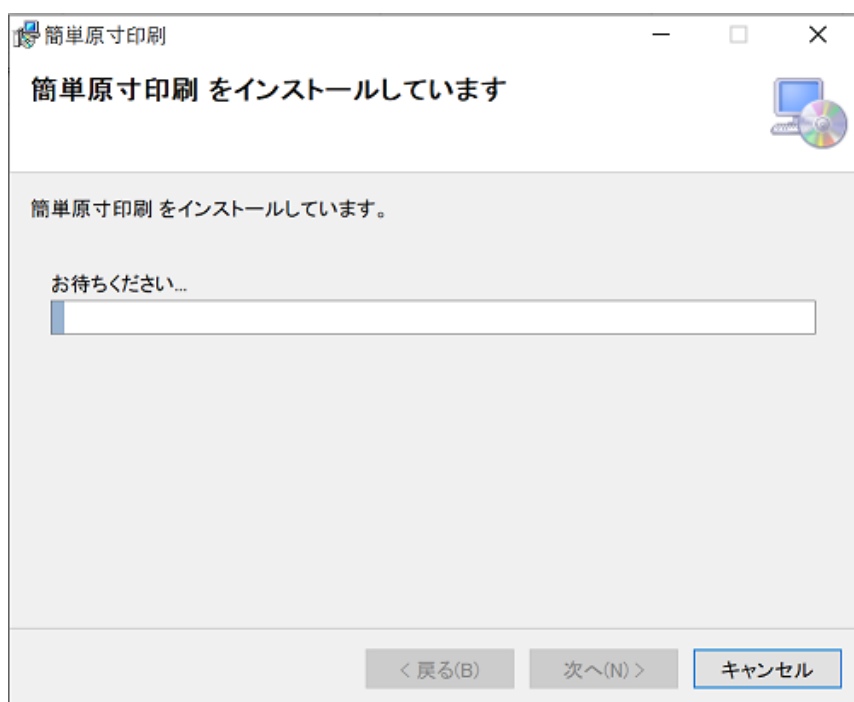
【補足その 2】 画面左下に「すべてのユーザー」と「このユーザーのみ」という部分がありますが、1 つの PC を複数のユーザーで利用していて(複数のユーザーが登録されている場合等)、本ソフトを全てのユーザーで利用する場合は「すべてのユーザー」の方を選択してください。これにより、各ユーザーのスタートメニューのアプリの一覧に本ソフトが表示されるようになります。また、ライセンスをご購入される場合は、1 台の PC につき 1 ライセンスですが、ライセンス番号の入力自体は、各ユーザーの画面でそれぞれ入力が必要となりますので(ライセンス番号は共通です)、この点にご留意ください。



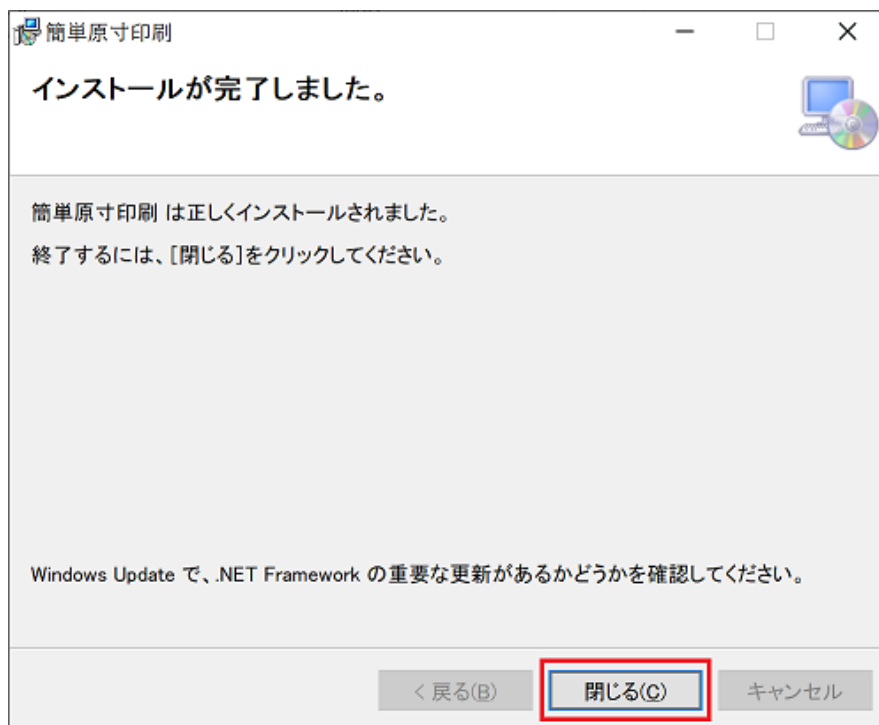
- 4-7. すると、下図のように「インストールの確認」という画面が表示されますので「次へ」ボタンをクリックします。



- 4-8. すると、下図のようにインストールの進捗状況を表す画面が表示されますので、そのままお待ちください(※ケースにより、この画面で進捗状況のバーが伸びていくまで、若干お時間が掛かることがありますのでそのままお待ちください)。

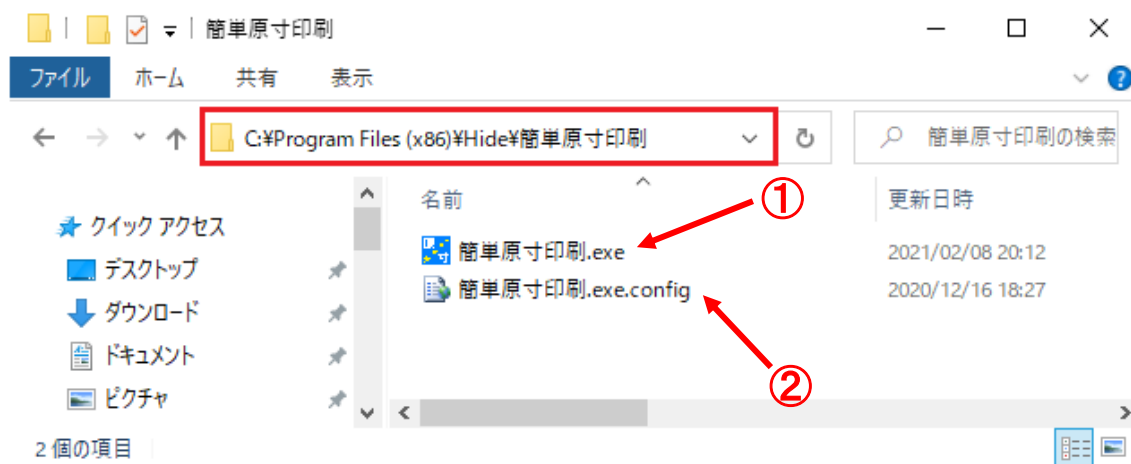


4-9. 続いて、「インストールが完了しました。」と表示されますので「閉じる」ボタンをクリックします。



ここまでの操作で、本ソフトのインストール操作は完了しました。

ここで、補足となりますが、本ソフトのインストール先のフォルダの状態は下図のようになっています。下図の①の「簡単原寸印刷.exe」というファイルが本ソフトのプログラム本体で下図の②の「簡単原寸印刷.exe.config」というファイルが本ソフトの設定ファイルとなります。どちらも重要なファイルとなりますので、削除しないようにお願い致します。



※上図は Windows が 64bit の場合のパスとなります。

## 5. インストール先のプログラムやフォルダのセキュリティチェックの除外設定を行う

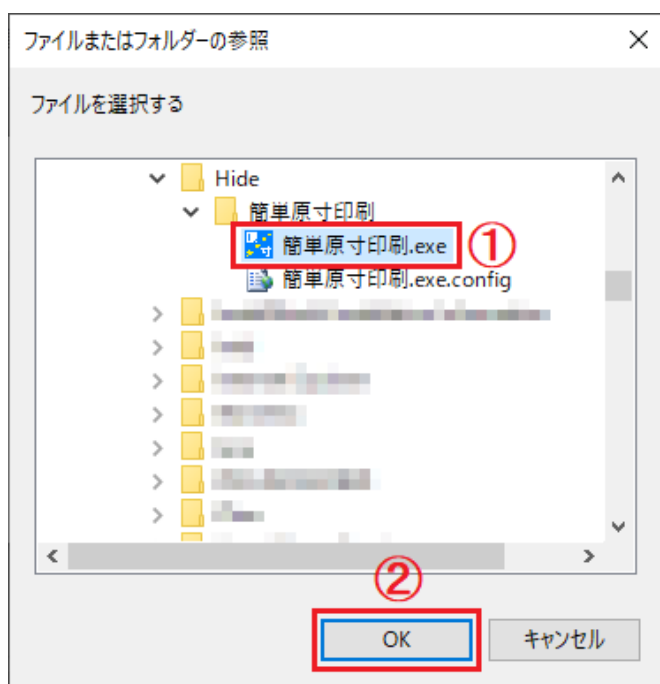
手順 4.の操作で本ソフトのインストールは完了していますが、セキュリティソフトに対してインストール後の設定を行います。Norton をご利用の場合は手順 5-1.を、ウィルスバスターをご利用の場合は、手順 5-2.にお進みください。

### 5-1. セキュリティソフトが Norton の場合

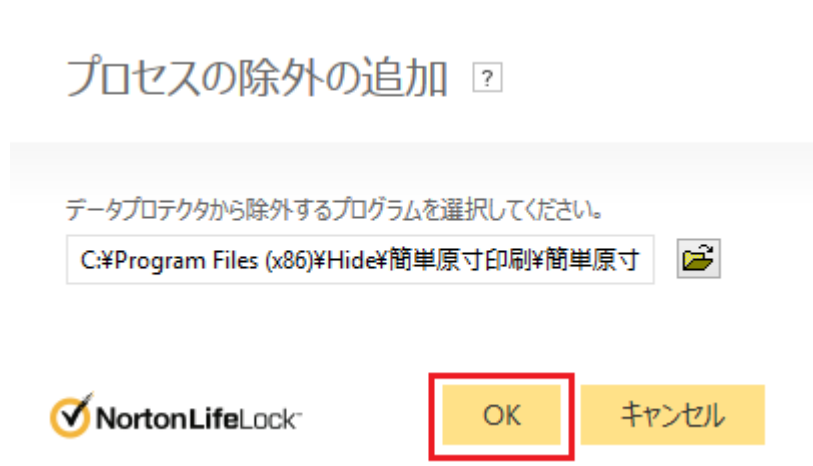
5-1-1. ここでは、本資料の手順 3-1-4.~3-1-8.と同じ手順で「プロセスの除外の追加」の操作を行います。下図のように、本ソフトのインストール先のフォルダ内にある「**簡単原寸印刷.exe**」というファイル(プログラム)を選択して「OK」ボタンをクリックします(※本ソフトを標準インストール先にインストールした場合のプログラムの場所は下記となりますが、もしインストール先を変更した場合は、そのパスをたどって頂き、「**簡単原寸印刷.exe**」というファイル(プログラム)を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。)。

【本ソフトの標準インストール先のプログラムパス: Windows 11 / 10 / 8 / 7 で 64bit の場合】  
C:\Program Files (x86)\Hide\簡単原寸印刷\簡単原寸印刷.exe

【本ソフトの標準インストール先のプログラムパス: Windows 10 / 8 / 7 で 32bit の場合】  
C:\Program Files\Hide\簡単原寸印刷\簡単原寸印刷.exe



5-1-2. すると、下図のように「プロセスの除外の追加」の画面になりますので「OK」ボタンをクリックします。



続いて、下図のように「プロセスの除外」の画面に戻りますので、画面上の「プロセス」の部分に先ほど選択した「簡単原寸印刷.exe」のプログラムのパスが設定されていることを確認して「OK」ボタンをクリックします。



ここまでの操作で、Norton の設定は終了となりますので Norton のメインウィンドウは閉じて頂いて大丈夫です。引き続き、手順 6 のインストール確認手順にお進みください。

## 5-2. セキュリティソフトが**ウィルスバスター**の場合

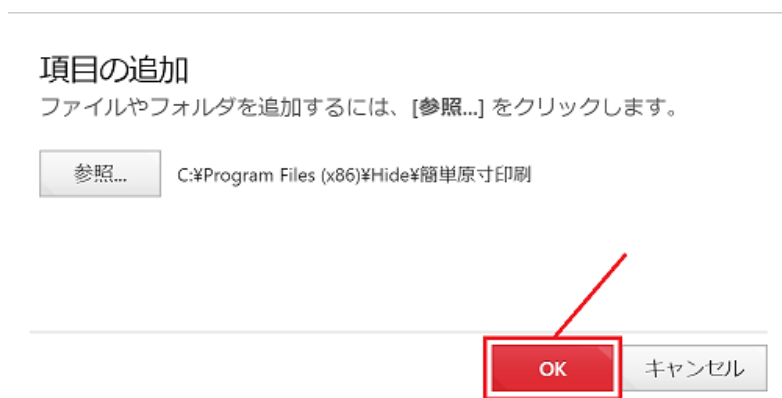
5-2-1. 本資料の手順 3-2-1.～3-2-8.を参考にして頂き、**「項目の追加」**の画面から下図のように、**インストール先に指定したフォルダ**を設定して頂き **「OK」** ボタンをクリックします(※本ソフトの標準インストール先のフォルダパスは、下記となりますので、インストール先を変更されなかった場合は、下図の参照ボタンをクリックして下記のパスをたどって設定して頂き、**「OK」** ボタンをクリックします。もしインストール先を下記以外のフォルダにされた場合は、そのフォルダパスを設定してください)。

【本ソフトの標準インストール先のフォルダパス: Windows 11 / 10 / 8 / 7 で **64bit** の場合】

C:\Program Files (x86)\Hide\簡単原寸印刷

【本ソフトの標準インストール先のフォルダパス: Windows 10 / 8 / 7 で **32bit** の場合】

C:\Program Files\Hide\簡単原寸印刷



左図は Windows が 64bit の場合の設定となります。

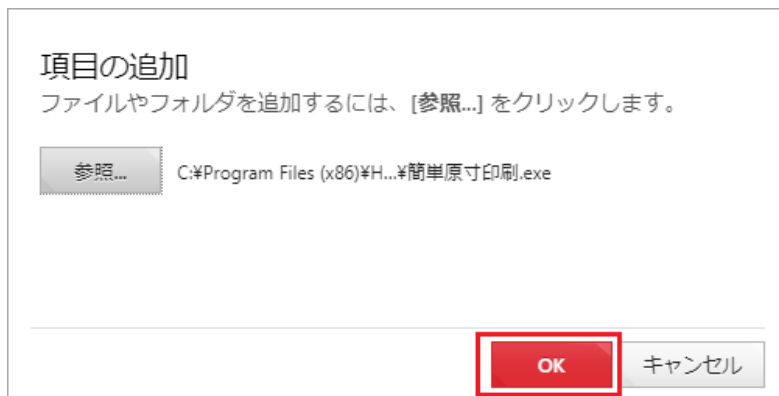
以後、本資料で設定しているパスは Windows が 64bit の物になりますので 32bit の場合は、上記でご説明したパスに読み替えてください。

5-2-2. 同様に、次図のように、本ソフトのインストール先のフォルダ内にある **「簡単原寸印刷.exe」** というファイル(プログラム)を選択して **「OK」** ボタンをクリックします(※本ソフトを標準インストール先にインストールした場合のプログラムの場所は下記となりますが、もしインストール先を変更した場合は、そのパスをたどって頂き、**「簡単原寸印刷.exe」** というファイル(プログラム)を選択して **「OK」** ボタンをクリックしてください)。

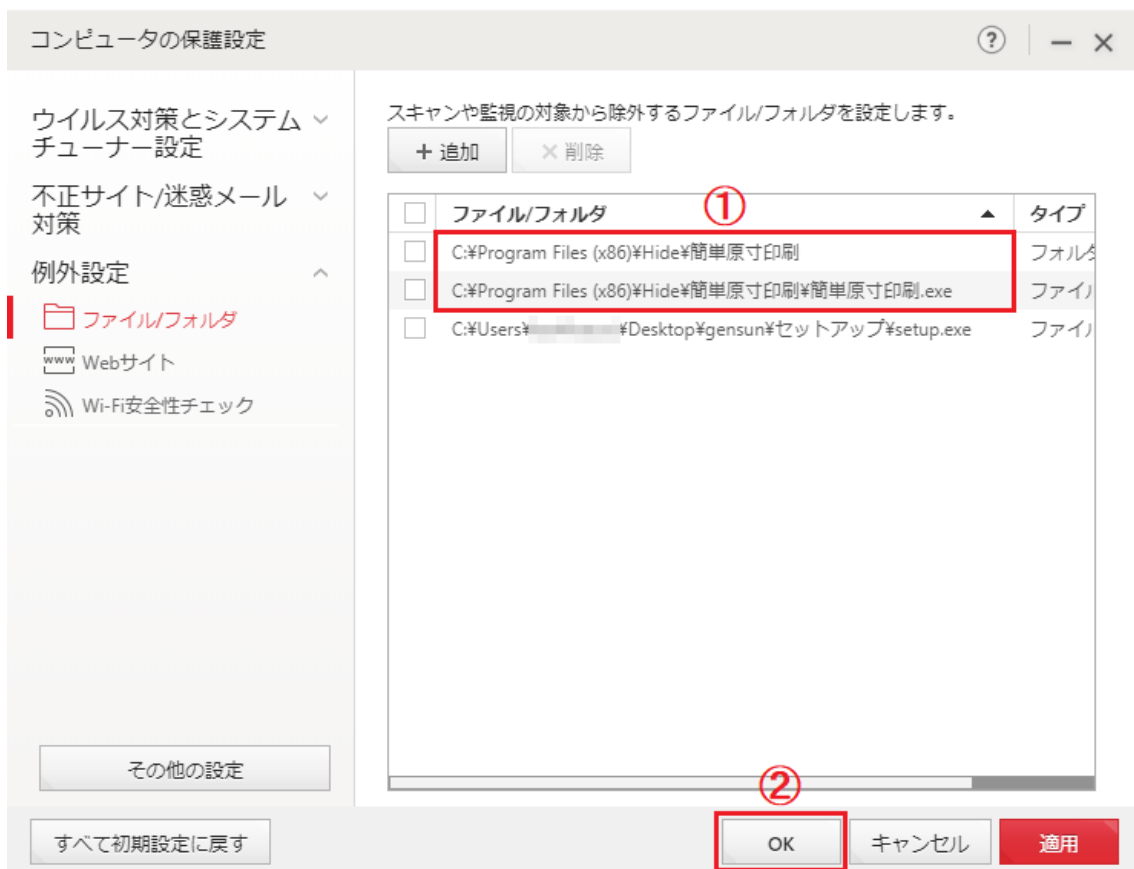
【本ソフトの標準インストール先のプログラムパス: Windows 11 / 10 / 8 / 7 で **64bit** の場合】 C:\Program Files (x86)\Hide\簡単原寸印刷\簡単原寸印刷.exe

【本ソフトの標準インストール先のプログラムパス: Windows 10 / 8 / 7 で **32bit** の場合】

C:\Program Files\Hide\簡単原寸印刷\簡単原寸印刷.exe



最終的に、下図のように「**コンピューターの保護設定**」の画面で、画面右側の「**ファイル/フォルダ**」の部分に先ほど選択したインストール先のフォルダやプログラムのパスが設定されていることを確認して「**OK**」ボタンをクリックします。



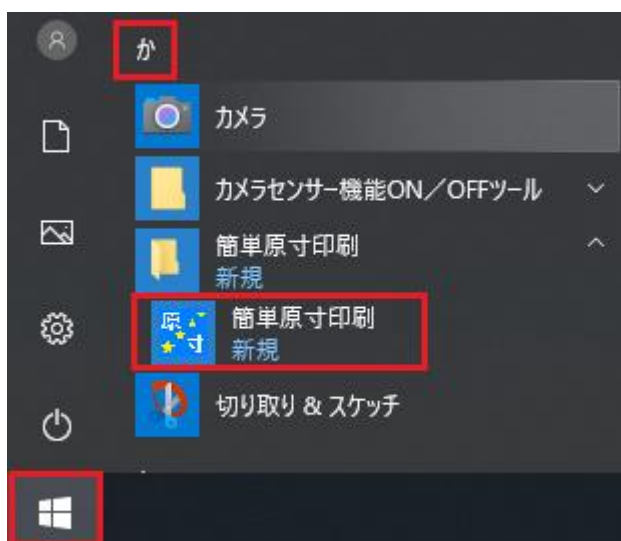
ここまでの操作で、ウィルスバスターの設定は終了となりますのでウィルスバスターのメインウィンドウは閉じて頂いて大丈夫です。引き続き、**手順 6 のインストール確認手順**にお進みください。



## 6. 本ソフトのインストール確認を行う

本資料の最後に、本ソフトのインストールが正しく行われたかの確認方法についてご説明します。Windows 10 の場合、スタートメニューのアプリの一覧(Windows 11 の場合は「すべてのアプリ」)から、キーワードが「**か**」の項目を表示した際に、下図のように「**簡単原寸印刷**」というフォルダが存在し(Windows 10 の場合)、さらにその中に「**原寸**」と書かれた水色のアイコンがあれば、こちらが本ソフトを起動するためのショートカットになりますので正しくインストールされています。また、Windows 11 の場合は、下図右側のようにキーワードが「**か**」の項目の中に「**原寸**」と書かれた水色のアイコンがあれば、正しくインストールされています。

### ※Windows 10 の場合



### ※Windows 11 の場合



本ソフトのインストールの確認ができましたら、引き続き、別紙の「**【簡単原寸印刷】操作手順書**」をご覧ください。

※次ページ以降では、本ソフトのインストール時に発生する可能性のあるトラブルとその対処法についてご説明しています。インストール操作で問題が発生した場合にお読み頂ければ幸いです。

## 7. トラブルシューティング

ここからは、本ソフトのセットアップ時のトラブルシューティングについてご説明致します。

### 7-1. setup.exe を実行した時に Norton のエラーが表示される

本ソフトのセットアッププログラム(setup.exe)を実行した時に、下図のように Norton からのエラーメッセージが画面右下等に表示された場合、セットアップ前の Norton の設定が正しく行われなかった可能性があります。この場合、下図の「**詳細を表示する**」をクリックします。



すると、下図のような「**セキュリティ履歴 - 詳細**」という画面が表示されますので、画面右側の「**プロセスの除外**」というボタンをクリックします。



すると、下図のような「セキュリティ履歴」という画面が表示されますので、画面右下の「閉じる」ボタンをクリックします。



上記の流れで Norton の設定ができましたら、改めて、本ソフトのセットアッププログラム (setup.exe) を実行してみてください。また、本資料の **手順 3-1-12. からご説明している「インストール先フォルダのセキュリティチェックの除外設定を行う」**の部分の設定や **手順 5 からご説明している本ソフトのインストール後の設定**もお忘れにならないようお願い致します。

トラブルシューティングのご説明は以上となります。